

# 交通安全ながさき

発行所

(一財)長崎県交通安全協会  
長崎市城栄町41番75号

印刷 九州印刷株式会社  
長崎市緑町4番5号

平成二十七年  
迎春

長崎市女神大橋より



(一財)長崎県交通安全協会

理事長 川添忠彦

新年明けましておめでとうござい  
ます。

皆様には、希望に輝く平成二十七年  
の新春をお迎えのこととお慶び申し上  
げます。

また、会員の皆様には、平素よりそ  
れぞれの地域において献身的に交通安  
全活動にご尽力を賜っておりますと  
もに、当協会への活動に深いご理解とご  
支援を賜っておりますことに対し、こ  
の場をお借りして、敬意を表しますと  
ともに感謝を申し上げます。

さて、昨年中の県内の交通事故は、  
発生件数、負傷者数ともに前年比大き  
く減少しましたが、交通事故死者数は  
前年よりも二人多い四十九人であり、  
2年連続の増加となっております。

昨年の交通死亡事故の特徴は、脇見・  
ぼんやり運転による死者が三十二人  
(全体の約六十五%)と依然として非  
常に多いこと、二輪車関連の交通事故  
死者が十人(前年比(+五人))、三十歳代  
以下の運転者加害に係る交通事故死者  
が十六人(前年比(+六人))と何れも前  
年比大幅に増加したこと、高齢運転者  
の加害事故による死者が十六人(前年  
比(+五人))と増加し全体の三割を占め  
るに至ったこと、飲酒運転根絶の願  
いも空しく依然として飲酒運転により  
四人の尊い生命が奪われていること、

高齢者の交通事故死者数が四十九人中  
二十八人(全体の約五十七%)と、平成  
十六年以降十一年連続で全死者数の半  
数を超える高い水準で推移しているこ  
となどが挙げられるほか、高齢運転者  
加害に係る交通事故が全体の約十九%  
を占めるなど、今後の交通事故防止対  
策を進める上で高齢者の交通事故の抑  
止が交通事故減少への大きな鍵となっ  
ています。

このような情勢を踏まえ、長崎県交  
通安全協会では県下二十三地区(市)交  
通安全協会とともに、平成二十三年度  
を初年度とする「第九次長崎県交通安  
全計画」に掲げた「平成二十七年まで  
年間の交通事故死者数を四十人以下、  
死傷者数を七千五百人以下にする」と  
いう目標達成に向けて、長崎県、長崎  
県警察等関係機関のご指導を仰ぎな  
がら、

○飲酒運転の根絶

○高齢者の交通事故防止

○全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

を重点に、その他、脇見・ぼんやり運  
転の防止、二輪車関連事故の防止、反  
射材用品の着用推進等にも力を入れて  
交通安全活動に取り組んでまいりたい  
と考えております。

皆様におかれましては、どうか、「交  
通事故のない安全・安心な長崎県」の  
実現を目指して日々活動が続けている  
交通安全協会の活動にご理解をいた  
だき、なお一層のご支援・ご協力を賜  
りますようお願い申し上げますとともに、  
皆様にとりまして安全で安心な素晴ら  
しい一年となりますよう心より祈念申  
し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成27年交通安全運動期間

春の全国安全交通運動	5月11日(月)～5月20日(水)	夏の交通安全県民運動	7月8日(水)～7月17日(金)
秋の全国交通安全運動	9月21日(月)～9月30日(水)	年末の交通安全県民運動	12月15日(火)～12月24日(木)

平成27年交通安全年間スローガン(全国) 内閣総理大臣賞(最優秀作)

- ◎ 運転者(同乗者を含む)に対するもの
  - ◎ 歩行者・自転車利用者に対するもの
  - ◎ 子供部門
- 早めから つけるライトで 消える事故  
外出は 明るい笑顔と 反射材  
ルールむし しん号むしは わるいむし

県年間スローガン

守ろう交通ルール 高めよう交通マナー

新年の御挨拶



長崎県警察本部長  
古谷 洋一

年頭に当たり、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

長崎県交通安全協会の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、昨年中は、交通安全活動をはじめ警察業務の各般にわたり、深い御理解と御協力を賜りましたことに対し、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の交通事故の発生状況でありましたが、全国においては、発生件数、死者数及び負傷者数のいずれも前年より減少し、死者数は四千百十三人と十四年連続して減少しました。

一方、本県においては、発生件数及び負傷者数は前年と比較して大幅に減少しましたが、死者数は四十九人と前年より二人増加しています。

昨年は、年当初から死亡事故が多発し、特に四月から五月にかけて十八人の尊い命が失われる交通事故が連続的に発生するなど非常に危機的な情勢が続いたことから、五月十九日に「交通死亡事故多発に伴う緊急事態宣言」を行い、関係機関・団体の皆様との緊密な連携の下、交通監視、広報啓発活動、指導取締り等、工夫を凝らした交通死亡事故抑止対策に取り組んだ結果、上半期三十五人に上った死者数が下半期

には前年同期と比べて八人少ない十四人にとどまるなど、死亡事故の多発傾向に一定の歯止めが掛かり、年間死者数は前年とほぼ同程度となりました。

本県における交通事故の特徴を見ますと、高齢者の死者数は二十八人で、前年より三人減少したものの、全死者数の五十七・一％であり、事故死者数全体の高止まりの大きな要素となっています。

また、「脇見・ぼんやり運転」を原因とする交通死亡事故の発生が全体の六十五・三％を占め、高い比率で推移しております。

さらに、飲酒運転による交通事故は七十三件発生し、前年より十三件増加するなど、いまだに後を絶たず、本県の交通事故情勢は予断を許さない状況にあります。

このような情勢を踏まえて、長崎県警察では、

○高齢者の交通安全対策

○飲酒運転の根絶対策

○脇見・ぼんやり運転防止対策

を本年の交通死亡事故抑止対策の重点に掲げ、本年の交通死亡事故の抑止目標である「死者数三十九人以下」の達成を目指すこととしております。

高齢者の交通安全対策では、関係機関・団体と連携した参加・体験型の講習や高齢者宅訪問活動など高齢者の心に響く交通安全教育を継続して推進するとともに、講習会等に参加する機会がない高齢者にかたして安全教育を行うかという点にも配慮しながら、きめ細かい総合的な対策の推進に努めてまいります。

飲酒運転の根絶対策では、飲酒運転を未然に防止するための警戒活動や取締りを強化するとともに、酒類を提供する飲食店に対する訪問活動や自治体・事業所等に対する飲酒運転根絶宣言実施の働き掛けを行うほか、県民運動として推進中の飲酒運転追放の「三不運動」

○酒を飲んだら車を運転しない。  
○車を運転する前には、酒を飲まない。  
○車を運転する人には、酒を出さない。

の広報啓発活動を強化し、県民全体の意識の高揚を図ってまいります。

脇見・ぼんやり運転防止対策では、一昨年から、本県初となるテレビCMを製作して民放各局で放映するとともに、関係機関・団体の皆様の御協力をいただきチラシの配布や新聞広告の掲載などを行いましたところ、交通事故の抑止に一定の成果が上がっているところであります。

引き続き、各種媒体を活用した積極的な広報啓発活動を推進するとともに、運転者に緊張感を持たせるための警察官による街頭活動を強化して、脇見・ぼんやり運転の防止に努めてまいります。

以上のような取組のほか、県内各警察署がそれぞれの管内の交通情勢に応じた独自の対策を講じるなど、交通事故抑止対策を強力に推進し、県民の皆様や長崎県を訪れる方々が安全で安心な長崎県を実感できるように最大限の努力をしてまいります。

貴協会におかれましても、安全で安心な長崎県の実現に向けて、本年も引き続き、各季の交通安全運動はもとより、平素における協会の活動などを通じて、高齢者宅訪問活動や反射材の着用促進等の高齢者の交通事故抑止対策、ハンドルキーパー運動や酒類提供飲食店訪問活動等の飲酒運転根絶対策、脇見・ぼんやり運転防止対策などを推進し、歩行者及び運転者の交通安全意識の高揚に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

結びに、長崎県交通安全協会のますますの御発展と会員の皆様方の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

平成二十六年  
年末の交通安全  
県民運動

「お互いにもてたらいいね思いやり」をスローガンに、十二月十五日(月)から同二十四日(木)までの十日間、「平成二十六年年末の交通安全県民運動」が行われました。運動初日の十五日には、長崎市油木町の県立総合体育館駐車場において、県警は、交通警察出動式を行いました。出動式には、市内四署と時津署の交通課員、交通機動隊、高速道路交通警察隊の隊員ら約三十人が参加し、古谷洋一本部長が「交通監視活動や取締りなど、街頭活動を引き続き効果的に推進して欲しい。」と訓示、参加者は、パトカー七台、白バイ十五台に乗り込み、市内をパレードして「飲酒運転の根絶、高齢者の交通事故防止、シートベルト・チャイルドシートの着用の徹底」などを市民に呼び掛けました。

交通安全協会では、機関紙の配布、テレビ・ラジオ広報などを行ったほか、長崎県、長崎県警察、その他関係機関・団体と連携して飲酒運転根絶キャンペーン、車両等のパレード、通学路における街頭立哨活動などを行い、県民に交通安全運動の広報と交通事故防止を呼び掛けました。

なお、期間中に発生した交通事故は、発生件数は八十九件(前年同期比(+))、死者数一人(前年同期比(-))、負傷者数百七十七人(前年同期比(+))です。



隊員らを点検する古谷本部長

地区(市)協会だより

(一社)長崎地区交通安全協会

交通マナーアップで、

交通事故を一件でも減らしたい



会長 永生 四元

当協会が管轄するのは、県下最大の繁華街、歓楽街にある長崎警察署管内で、交通事故や犯罪発生件数も多く、特に交通事故の発生件数(十一月一日現在)は、死者数二人(前年同期と同じ)、交通人傷事故発生件数七百八十二件(前年同期比(-)百三十二件)、負傷者数九百八十一人(前年同期比(-)百三十二人)です。死者数は変わらないものの発生件数、負傷者数ともに減少していますが、負傷者数の内、高齢者の占める割合が六十一・五％と高い比率です。長崎市の人口約四十三万人の内、約二十八％を六十五歳以上の高齢者が占めることもあり、高齢者の交通事故防止を基本として各老人クラブでの交通安全講習会等、並びに運転者・歩行者等に対し交通マナーアップ等のチラシや反射材付リストバンドの配布、飲食店に対する飲酒運転根絶のための協力要請等の幅広い活動を進めてまいります。

このように、各運転者等の「交通マナーアップ」で、交通事故を一件でも減らすため、協会役員等一丸となって頑張っています。



徒歩パレードによる交通安全広報の様様

交通安全栄誉章等受章(賞)者の皆様おめでとうございます



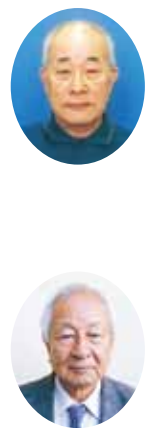
交通安全国民運動中央大会本会議表彰式状況 「(一財)全日本交通安全協会撮影」

平成二十七年一月十六日(金)、東京都内において秋篠宮同妃両殿下ご臨席のもと行われた第五十五回交通安全国民運動中央大会本会議で、交通安全功労者等への表彰が執り行われました。本県関係の受章(賞)者は次のとおりです。

I 交通安全栄誉章「緑十字金章」

(警察庁長官・(一財)全日本交通安全協会長連名表彰)

- (1) 向井 俊介氏 長崎市
(2) 渡邊 昭二氏 対馬市



II 交通安全栄誉章「緑十字銀章」

(警察庁長官・(一財)全日本交通安全協会長連名表彰)

優良交通安全協会

(一財)全日本交通安全協会会長表彰

川棚地区交通安全協会 (会長 松下文隆氏)



(1) 山田 進氏 西海市



(1) 町田 実純氏 佐世保市



(2) 井上 文夫氏 長崎市



(3) 松本 世生氏 佐世保市



(4) 喜佐田春男氏 長崎市



(1) 梅崎 幹博氏 諫早市



(2) 前川 典克氏 西彼長与町

年頭のごあいさつ 県内23地区(市)交通安全協会会長一同



新年明けましておめでとうございます。私ども地区(市)交通安全協会は、交通事故のない安全・安心な長崎県をめざし、交通安全活動を行ってまいります。県民の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

Grid of 23 regional交通安全協会会長 portraits with names and locations: 長崎地区 四元 永生, 大浦地区 井口 國雄, 稲佐地区 川原 強, 浦上地区 深堀 勝博, 時津地区 江崎 辰男, 西海地区 渡邊 保, 諫早市 松本 卓郎, 島原市 本田 哲士, 南島原市 松代 一昌, 雲仙市 酒井 孝一, 大村市 山口 馨, 川棚地区 松下 文隆, 早岐 村瀬一郎, 佐世保市 川添 忠彦, 相浦地区 長島 正, 江迎地区 天島 良夫, 松浦地区 松口 榮, 平戸地区 白石 幸生, 五島市 網本 定信, 上五島地区 林 育久, 壱岐地区 立石 和生, 対馬南地区 渡邊 昭二, 対馬北地区 春田 新一





# 各地区(市)交通安全協会では、こんな活動を行っています

各地区(市)交通安全協会は、皆様の会費によって様々な交通安全活動を行っています。その一部を、このコーナーでご紹介します。

## 長崎地区



桜町小学校前と矢上交番前の2箇所で通過車両の運転者に対し「早め点灯」のフラッグを示して、夕暮れ時の早め点灯の広報啓発活動を行った。

## 大浦地区



警察、交通安全協会、地活推進委員合同で、新戸町地区付近の酒類提供飲食店14店舗を訪問し、飲酒運転根絶への協力を呼び掛けた。

## 稲佐地区



管内稲佐橋交差点において、二輪車運転者、自転車使用者等にチラシ、交通安全グッズを配って、二輪車運転時の交通事故防止を呼び掛けた。

## 浦上地区



長崎市住吉町の酒類提供飲食店を訪問し、ハンドルキーパー運動の呼び掛けと飲酒運転根絶の啓発を行った。

## 西海地区



西海警察署、西海市の車両とともに交通安全協会の車両で西海市役所を出発して市内の車両パレードに向かう西海地区交通安全協会大瀬戸支部役員ら。

## 諫早市



新装オープンした大型量販店入口付近において、サンタに扮した「のぞみ保育園」の園児11名らとともに、買物客にチラシなどを配って、飲酒運転の根絶などを呼び掛ける交通安全協会喜支部員。

## 雲仙市



吾妻町の高齢者宅15件を母の会とともに訪問し、靴用反射材、反射手袋などを配り使用させて交通事故防止の指導を行った。

## 南島原市



南島原警察署員、深江町役場職員らとともに、ドライバーにチラシ、飲料水などを配って、安全運転を呼び掛けた。

## 大村市



大村市役所前国道両側歩道で大村市職員らとともに、ドライバーに飲酒運転根絶と早め点灯を呼び掛けた。

## 川棚地区



川棚地区交通安全協会の管内3か町の48飲食店を訪問して、飲酒運転の根絶を働きかけた。

## 早岐



早岐警察署前国道において、東明幼稚園児らとともにドライバーに交通安全グッズなどを配り、交通安全を呼び掛けた。

## 佐世保市



湊町の歓楽街スナックを訪問し、従業員や客らに飲酒運転根絶を呼び掛けた。

## 相浦地区



相浦地区年末地域安全パレードで交通安全を呼び掛けた。

## 松浦地区



管内全域31の酒類提供飲食店を訪問し、手づくりの啓発グッズやチラシを配って飲酒運転の根絶を働きかけた。

## 平戸地区



管内全域の幼稚園・保育所を巡回し、園児に交通安全鉛筆をプレゼントして家庭に持ち帰らせ、親子の交通安全意識の高揚を図った。

## 五島市



各酒類提供飲食店を訪問し、啓発物を手渡して飲酒運転根絶を働きかけた。

## 上五島地区



新上五島町新魚目地区幹線道路の片側歩道において、ドライバーにチラシ、交通安全グッズ等を配り飲酒運転根絶を呼び掛けた。

## 対馬南地区



厳原税務署前において、ドライバーにシートベルトの着用及び安全運転を呼び掛けた。

## 対馬北地区



峰町大久保三叉路においてドライバーや同乗者に交通安全グッズ、チラシ等を配って飲酒運転の根絶を呼び掛けた。

## 交通安全協会へのご入会をお願いします!!

交通安全協会は、県民の皆様の交通安全思想の普及と高揚を図り、悲惨な交通事故をなくして安全・安心な長崎県を実現するため、

- 街頭での交通安全の呼び掛け
- 会員へのチャイルドシートの無料貸出し
- 横断歩道での子供、高齢者の交通誘導
- 交通安全のぼり旗、横断幕の作成・掲出
- 幼稚園や保育園、老人ホームでの交通安全教室の開催
- 交通安全功労者、優良運転者等の表彰
- テレビ、ラジオ等による交通安全広報
- 新入学児童への黄色い帽子等の贈呈
- チラシ・反射材等の配布活動

など、各種交通安全活動を行っています。これらの活動経費は、皆様方の会費によって支えられています。交通安全協会の活動にご理解をいただき、ご入会をお願いします。